

## 平成29年度 安全で安心な県づくり推進会議 記録（要旨）

- 日 時：平成29年11月16日（木）午前10時～11時30分
- 場 所：北庁舎2階 危機管理センター小会議室
- 出席者：別紙委員名簿（出席者一覧）のとおり
- 概 要：以下のとおり

※本文中の「条例」は福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例のことを、「基本計画」は福島県安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画のことを言う。

### ○議題（1）安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画の進行管理について

→事務局から資料1及び資料2のとおり説明

※資料2は、前年度と比較し、特に結果が悪かったものについて説明。

→各委員から事務局の説明に対する意見及び質問等

#### 【渡辺委員】

- ・資料1-2（基本計画の取組状況について※イメージ）については、今後、作成するということだが、もう少し詳しく、例えば、災害対策本部等のところでは、取組（事業実施）予定欄に、訓練など平時の取組も記載するなど、記載した方がよいと思う。
- ・資料2（指標の進行管理表）、1-6 住宅火災による死者数(P.3)の現状分析では、「発件数は減少傾向にあるが～」とあるが、それが具体的に数字では分からない。グラフに記載のないものは文言でもいいので補足した方がよい。

#### 【田崎委員】

- ・資料2、パーセントだと母数(実数)が分からないので、実数をどう捉えるかも重要。例えば、1-6 住宅火災による死者数(P.3)の場合、「住宅」といっても「空き家」を含めるか含めないかにより、「安全」という観点では変わってくるかもしれない。

#### 【藁谷委員】

- ・資料2、1-1 自主防災組織活動カバー率(P.1)についても、具体的に H27 年度から H28 年度でどのくらいの組織数が減少したのか、原因は何かなどももう少し詳しく記載しないと実態が分からない。

#### 【宍戸委員】

- ・資料2について、実績と目標値があまりにも乖離している指標は見直すべき。例えば、1-2 防災士の認証登録者数(P.1)は増えているが、それに対して目標値が低い。また、8-1 環境基準（大気・水質）達成率(P.17)については、実績が大気(H28は75.0%)と水質(H28は93.2%)で大きく異なるのに対し、目標はどちらも100%であり、大気では本当に達成できるのかと思う。

#### 【佐々木委員】

- ・指標は重要なものだと思うが、一方で実態が伴っているかということも重要。例えば、熊本県のある市では自主防災組織率がかなりの高率だったが、リーダーが育っておらず実際の震災ではほとんど機能しなかったという報告もある。
- ・資料2について、いくつか現状分析がこれでよいのかと疑問に思うものがある。例えば7-4 エコファーマー認定件数(P.14)については、原発事故以降、風評により安全な物を求めて買っていた消費者がいなくなってしまうなどの背景もあるのではないかとと思う。数字だけが増えたり、減ったりということではなく、その背景にあるものを捉えることが必要。
- ・今後、新しい取組や今まで以上に効果的な対策等が見つかった場合、そのことに関連する指標等について、取り入れていくという柔軟な対応も必要。

#### 【横田委員】

- ・(昨年度から意見をしてきたことだが、) 資料2、5-1 交通事故死亡者数(P.9) や6-5 自殺者数(P.14)の目標値について、現在の表現だと〇〇人までなら死んでもよいという感じがするので、「〇%マイナス」などの表現することはできないか。
- ・資料2、8-1 環境基準(大気・水質)達成率(P.17)は、そもそも考え方や概念が計画本文にも記載がなく分からない。
- ・資料2、8-6 放射線教育に係る授業を実施した学校の割合(公立小・中学校)(P.19)について、私立校の状況はどうなっているのか。

#### 【田崎委員】

- ・資料2、7-5 食品と放射能に関するリスクコミュニケーションの実施件数(P.14)は、(上段に単年の件数、下段に累計が記載されており、) 累計の数字はすぐに分かるが、各年度の実施数がぱっと見たときに分かりづらい。

#### 【熊田芳江委員】

- ・資料2、7-3 GAP(農業生産工程管理)に取り組む産地数(P.14)と7-4 エコファーマー認定件数(P.14)については、これらの取組について生産者にはもちろん、消費者にももっと伝えていくことが必要だと思う。

#### 【横田委員】

- ・GAP やエコファーマーの数字も重要だが、新規就農者数の増加も合わせて考えていくことが大切だと思う。戦略として10年後のことまで考えてやっていく必要がある。

#### 【渡辺委員】

- ・資料2、11-1 地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(P.24)では、県政世論調査の結果であることから、現状分析等について記載をしていないものと思われるが、これは(個人の感じ方ではなく)、行動を聞いているものであるのだから、コメントしてもよいのではないか。(せつかく数字も上昇していることからアピールする意味でも。)

**【吉岡会長】**

- ・全ての指標について、実数を掲載したり詳細を説明したりするのは難しいかもしれないが、より実態が分かるよう文言で補うなど検討してほしい。
- ・各委員から指摘のあった指標について、他の計画等との整合性から目標値等を変えることが難しいものについては、表現など工夫してほしい。
- ・各個別分野の審議会でも本推進会議で意見があったことについて伝えていただき、ぜひ審議の参考としてほしい。

**○議題（２）その他**

→事務局から

- ・今後の推進会議の開催について
- ・推進会議委員の再委嘱について
- ・福島県防災ガイドブック「そなえる ふくしま ノート」の完成、県下一斉安全確保行動訓練「シェイクアウトふくしま」の実施について（参考資料のとおり）

以上